

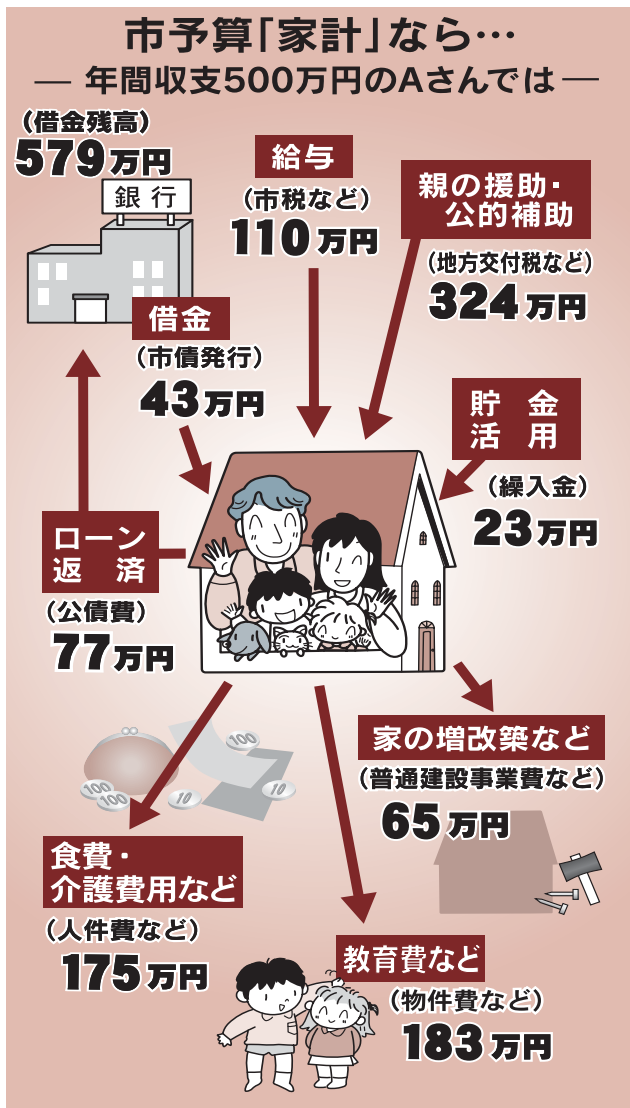
総合計画前期基本計画大綱別の主な事業

I 自然を愛し共生するまちづくり 37億9,700万円	
交通安全教育推進事業費(新規)	300万円
斎場整備事業費	240万円
道路新設改良事業費	3億4,535万円
排水施設改修事業費(新規)	118万円
公営住宅整備事業費	2億5,480万円
総合防災センター整備事業費	1,439万円
	ほか108事業
II 健やかに人が輝くまちづくり 42億5,200万円	
遠野わらすっこプラン事業費(新規)	1,000万円
子育て環境育成事業費(新規)	272万円
小学生医療費給付事業費(新規)	600万円
不妊治療支援事業費(新規)	200万円
	ほか96事業
III 活力を創意で築くまちづくり 18億5,300万円	
A S Tチャレンジ100事業費	2,374万円
ふるさとの街賑わい創出事業費	4,447万円
観光・交流施設整備保全事業費	3,000万円
伝統かやぶき屋根再生事業費	2,550万円
食育と農業の体験学習事業費(新規)	58万円
	ほか94事業
IV ふるさとの文化を育むまちづくり 15億2,900万円	
綾織小学校改築整備事業費	1,330万円
遠野北小学校大規模改造等事業費	1億6,750万円
図書館博物館改修整備事業費(新規)	8,060万円
	ほか80事業
V みんなで考え支えあうまちづくり 48億4,600万円	
地域づくり振興費	2,081万円
公共施設ロングライフ事業費	1,000万円
	ほか74事業

平成20年度特別会計予算

特別会計	予算額 ※()は前年度比
国民健康保険(事業勘定)	34億7,277万円(△4.0%)
国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億7,306万円(△9.2%)
老人保健	3億7,206万円(△88.2%)
後期高齢者医療	2億8,829万円(新設)
介護保険(保険事業勘定)	27億0,779万円(3.7%)
介護保険(介護サービス事業勘定)	988万円(△39.9%)
ケーブルテレビ事業	4億4,147万円(21.9%)
農業集落排水事業	6,960万円(△6.4%)
下水道事業	10億2,201万円(△8.0%)

※平成19年度策定した市汚水処理基本計画により、浄化槽事業特別会計は廃止となります



創出事業、観光案内板や観光・交流施設の整備、保全など、潤いと活力のある地域産業の振興に積極的に取り組めます。

■ **学校環境の充実、郷土文化の保存と活用**

老朽化した綾織小学校の改築や遠野北小学校の大規模改造、総合食育センター整備など教育環境の充実と二十二年に発刊百周年を迎える遠野物語の「記念プロジェクト」に取り組めます。

■ **さらなる飛躍のために**

本年度は「遠野スタイル創

一般会計の市債、基金の状況

市債(借金)残高の推移	
平成18年度決算額	203億3,342万円
平成19年度見込額	196億2,119万円
平成20年度見込額	188億5,167万円
※残高には浄化槽特別会計で発行した残高も含む	
基金(貯金)総合計残高の推移	
平成18年度決算額	20億7,135万円
平成19年度見込額	23億0,770万円
平成20年度見込額	19億2,988万円

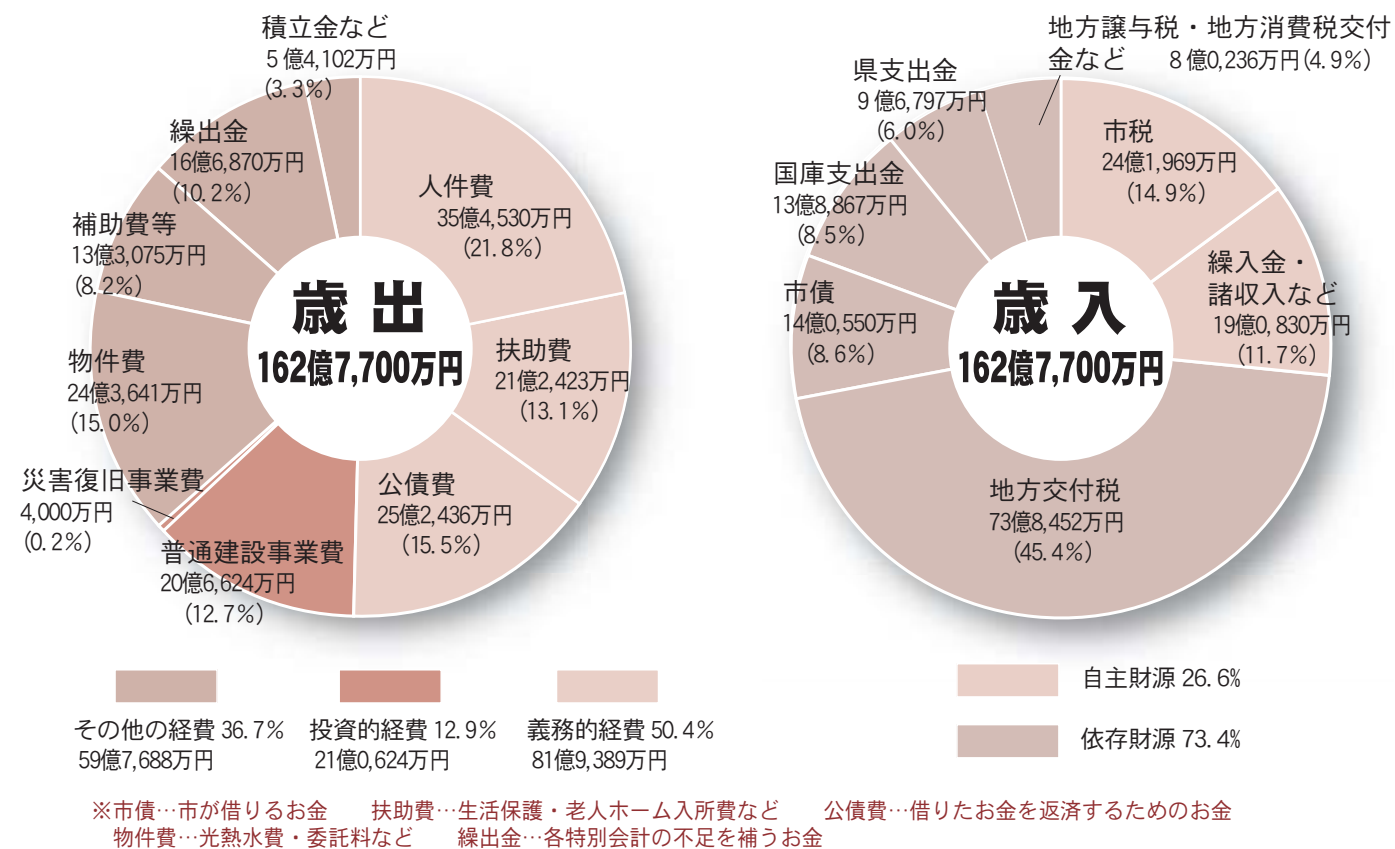
造推進予算」と位置付け、二十二の新規事業(事業費二億二千万円)に取り組みほか、「永遠の日本のふるさと遠野基金」を活用した二十二事業(事業費一億六千四百万円)を実施し、本市が掲げる「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指します。

「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け
遠野スタイル創造推進予算を編成

平成20年度の予算が3月の市議会定例会で議決されました。一般会計予算の総額は162億7,700万円、「充電型」とした前年度予算額に比べ1.8%の増額となりました。少子化対策・子育て支援総合計画の実施など遠野市総合計画前期基本計画に盛り込まれたさまざまなプロジェクトが具体的に動き出す「遠野スタイル創造推進予算」として編成しました。

(各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしているので、合計額が異なる場合があります)

一般会計予算の内訳



市は、足腰の強い財政基盤の確立と市総合計画前期基本計画の着実な推進を柱とした平成二十年度予算を編成しました。予算額は百六十二億七千七百円。市総合計画前期基本計画百四十事業のうち百九事業(三十三億九千三百万円)に取り組めます。

■ **健全財政五カ年計画の堅持**

各種証明書やし尿処理などの手数料と牧野、市民センター関連施設などの各種使用料の見直しを行い、約千三百五十万円の歳入確保を図ります。

借金に当たる市債については、高金利の借入金を繰上償還し、将来負担の軽減に努めます。この繰上償還による財政効果は約二百万円と試算。このことにより二十年度末の市債残高見込みは、市民一人当たり五十九万七千円(二十年一月末人口で試算)で、前年度に比べ一億六千円の減額となります。

■ **遠野わらすっこプラン実施**

市民の皆さまからいただいた意見を反映し策定した「少子化対策・子育て支援総合計画(通称、遠野わらすっこプラン)」を実施します。

■ **快適な生活環境の整備促進**

老朽化が進む斎場整備、材木町の公営住宅建設、総合防災センターの整備など市民の生活環境を快適にするための各種環境整備に取り組めます。

■ **産業振興のさらなる推進**

A S Tチャレンジ一〇〇事業をはじめとする農業振興事業や遠野駅前再開発などを含む「ふるさとの街賑わい